

伊奈町の下水道のいま

伊奈町の下水道は、昭和58年から整備が始まり、私たちの暮らしを支えてきましたが、整備から長い年月が経過し、老朽化が進んでいます。町が管理する下水道管（污水）のうち約40%は、設置から30年を迎えており、今後更新が必要です。

下水道には污水と雨水を一つの管で流す**合流式**と、別々の管で流す**分流式**の2種類があって、伊奈町では**分流式**の下水道を整備しているよ。



数字でみる伊奈町の下水道

下水道管(污水)の総延長

約**174.9km**

伊奈町から「いな」繋ぎの福島県南会津町までとほぼ同じ長さです。雨水も合わせると、約196.2kmの下水道管が町内に張り巡らされています。

下水道普及率

78.8%

公共下水道の供用開始区域は、法律により下水道への接続が義務付けられています。町内のおよそ8割の人が下水道を利用できる環境になっています。

マンホールの数

約**5,000基**

マンホールのふたは、全国各地でデザインが異なるご当地ものです。令和8年9月現在、町内には4種類のデザインマンホールが設置されています。

伊奈町のデザインマンホール



マンホールカード配布中!

配布施設▼

- ・伊奈町上下水道庁舎
- ・総合センター
- ※各施設の開庁時間外の配布はできません



下水道があるからこそ、当たり前の生活が成り立っています

少しの心掛けで、下水道を安心・安全に使うことができます。

下水道(排水口やトイレ)に流してはいけないもの



ビニール
プラスチック類



ティッシュペーパー



髪の毛



たばこ



食用油
野菜くず



ガソリンや農薬などの危険物



無意識のうちに使っている下水道は、川や海の水環境を守る大切な役割を担っています。誤った使い方をすると、詰まりや悪臭、設備の故障などを引き起こし、修理には多大な時間と費用がかかります。快適な生活環境を維持するためにも、正しい使い方へのご協力をお願いします。

特集

のぞいてみよう！ 下水道の仕組み

9月10日は
下水道の日

下水道は、まちを浸水から守るだけでなく、污水をきれいにして川や海を守る大切な役割を担っています。下水道の大切さを知ってもらうため、昭和36年に「全国下水道促進デー」が始まり、平成13年から親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。私たちの暮らしを支える仕組みについて考えてみませんか。

問 上下水道課 ☎ 721-5555

伊奈ローズちゃんと
伊奈ローズくんが



スイスイくん

下水道について

教えてもらいました



スイスイくん、こんにちは！
9月10日は「下水道の日」
みたいだけど、下水って一体
なんだろう？



そうなんだね。
污水ってお家から流した水の
ことなのかな？



もし、私たちの生活に下水道
がなかったらどうなるか？

私たちが毎日の生活で使った
污水と雨水の全てをまとめた
ものだよ。



そうだよ！
トイレやお風呂から流した水を
污水といって、地下の下水道
管を通して処理場へ運ばれ、
きれいな水になって川へ戻さ
れるんだ。



一緒に考えてみよう！



～もしも私たちの生活に下水道がなかったら～

●トイレやキッチンが使えない

水を流せないで水洗トイレが使用できず、衛生的に使えなくなり、キッチンも使用することができません。



●川や海の生態系が崩れる

汚れた水がそのまま川や海へ流れ込み、水質の悪化や生き物への影響につながります。



●お風呂に入れません

お風呂やシャワーを使うことができず、体を清潔に保つことができません。



普段は見えないけれど、下水道は私たちの暮らしを支えている大切な仕組みなんだね！これからも、正しく大切に使っていこう！

